

# 一般消費財



一方、インターネットの台頭により、価格、品揃えの豊富さ、製品の入手可能性、顧客ロイヤルティに対するプレッシャーが高まっている。高水準のSKUローテーションとサプライチェーン最適化の世界的な推進により、消費財業界は効率を最大化し、在庫レベルを合理化するために自動化を導入しています。

BALYOは、FMCGの成長ニーズに対応するため、ロボットとサービスの幅広いポートフォリオを開発しました。輸送の統合、クロスドッキング、不測の事態への対応、サプライチェーンの円滑化、付加価値の創造など、自動化は効率を高めるための厳格なツールとして機能するだけでなく、運用コストの削減にもつながります。

## 業界のトレンド

- 商品のスループットとトレーサビリティの向上
- ERP/WMSシステムの需要増大
- インフラ刷新の必要性を最小限に抑えた最適化
- 急速に変化する環境に対応する柔軟性とカスタマイズ性の高いソリューション
- 短納期でのオムニチャネル物流
- IoTとデータへの投資
- 在庫の高回転化

## なぜロボットなのか？

1

収益性：低い人件費

2

効率性：倉庫作業の最適化

3

競争優位性：インダストリー4.0の  
パイオニア



## 消費財業界におけるBALYOの役割

FMCG業界における典型的なアプリケーションの流れの例としては、以下のようなものがある：

- BALYOロボットがパレットをピックアップし、包装エリアまで搬送する。
- BALYOカウンターバランススタッカーは、コンベアからフローラックへパレットを搬送する。
- 同じループの中で、BALYOは、フローラックからコンベアエリアに空のパレットを戻すためにも使用できる。
- BALYOは、物流センターでラッキングに使用されるロボットリーチトラックの助けを借りて、作業効率を向上させる。

## BALYOの特長

- 生産/流通/保管アプリケーションのための完全なソリューション
- 24時間365日の使用とシステムの安定稼働性
- 運用の柔軟性
- 適応ナビゲーション技術
- 大きな負荷タイプも可能なロボットのラインアップ
- 幅広いロボットポートフォリオ
- 大手マテリアルハンドリングサプライヤーとのサービスネットワークパートナーシップ
- WMS/ERP接続
- 顧客環境との連動
- 生産性とスループットの向上

## BALYO 一般消費財 導入実績



導入台数



顧客



現場